

第10号議案 平成31年度長崎市観光施設事業特別会計予算

【目次】

	資料頁	予算説明書頁
[グラバー園費]		
1 グラバー園入園者数	1	-
2 グラバー園入園者数推移	2	-
3 事項別内訳表（グラバー園）	3	-
4 グラバー園管理費		
・グラバー園運営費	4	20～21
・旧グラバー住宅展示整備費	5～6	20～21
5 【単独】グラバー園施設整備事業費		
・エスカレータ改修	7～8	20～21
・排水路等整備	9～10	20～21
[ロープウェイ費]		
6 ロープウェイ利用者数	11	-
7 ロープウェイ等利用者数推移	12	-
8 事項別内訳表（ロープウェイ）	13	-
9 ロープウェイ事業管理費		
・ロープウェイ事業運営費	14	22～23
・夜景観光推進事業共催費負担金	15～16	22～23
10 【単独】ロープウェイ施設整備事業費		
・ロープウェイ設備整備	17～20	22～23、32～33



1 グラバー園入園者数

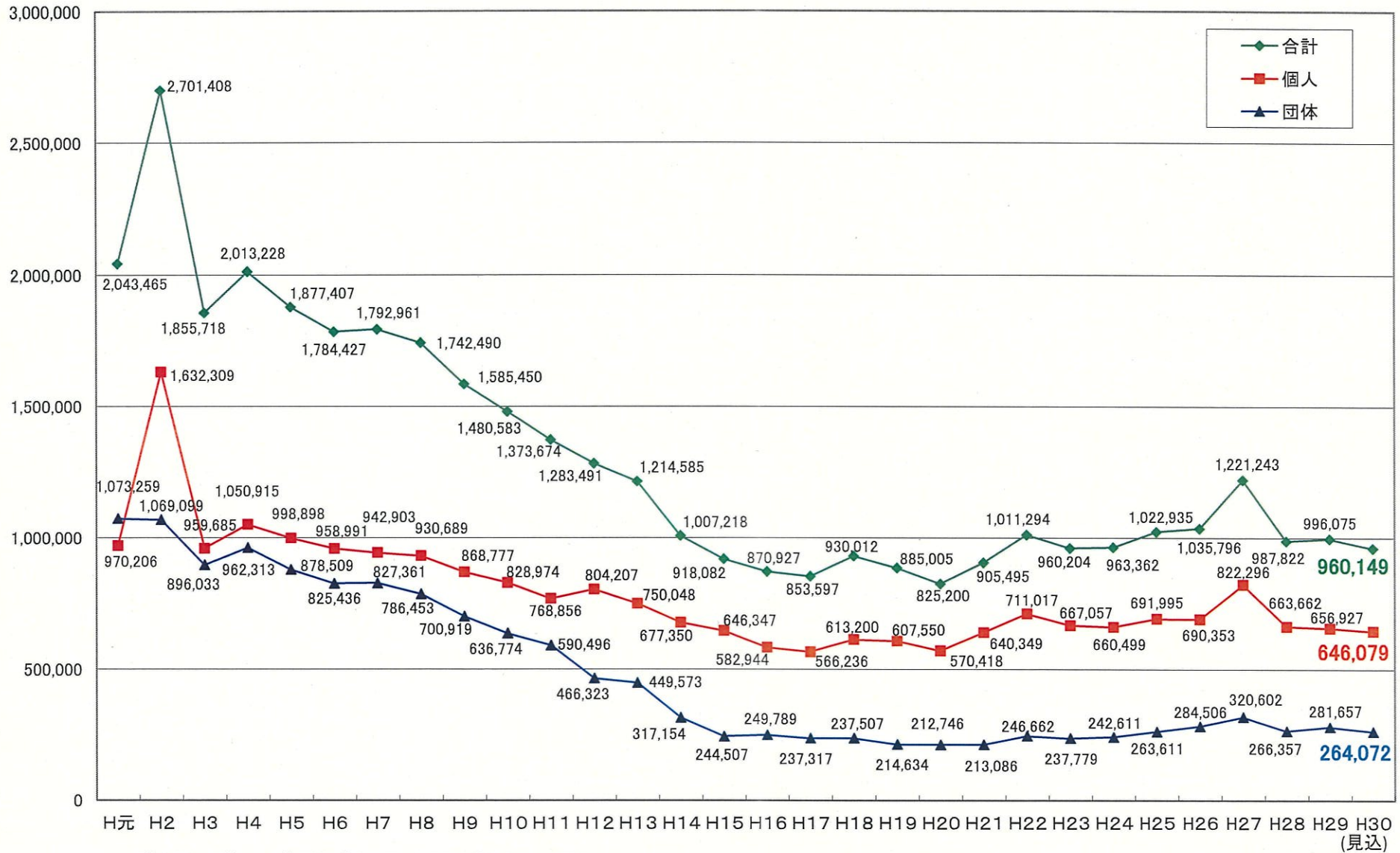
【単位：人】

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年度	個人	42,946	53,923	32,142	42,087	74,648	61,800	67,982	63,928	57,241	42,766	54,354	69,845	663,662
	団体	20,639	22,001	14,651	13,663	17,555	32,050	28,669	31,168	23,739	15,503	20,770	25,949	266,357
	夜間独占利用	-	341	59	-	-	-	502	638	307	-	-	-	1,847
	無料	3,913	4,825	3,417	4,166	5,737	5,490	5,709	6,626	4,534	3,667	3,776	4,096	55,956
	計	67,498	81,090	50,269	59,916	97,940	99,340	102,862	102,360	85,821	61,936	78,900	99,890	987,822
平成29年度	個人	49,485	86,295	40,993	39,718	63,654	47,952	62,789	59,388	48,630	35,486	52,427	70,110	656,927
	団体	23,799	37,958	24,680	17,662	21,962	19,049	25,834	28,591	20,314	14,382	20,285	27,141	281,657
	夜間独占利用	-	281	188	-	-	-	762	633	-	-	715	130	2,709
	無料	4,837	7,330	3,893	3,446	4,114	4,297	5,329	6,376	4,378	3,233	3,093	4,456	54,782
	計	78,121	131,864	69,754	60,826	89,730	71,298	94,714	94,988	73,322	53,101	76,520	101,837	996,075
平成30年度	個人	52,153	71,740	38,263	34,591	63,543	53,113	64,102	66,254	49,997	34,206	50,536	67,581	646,079
	団体	22,790	34,951	22,291	12,134	16,445	19,548	26,732	29,415	20,187	13,863	19,553	26,162	264,072
	夜間独占利用	-	130	152	-	-	-	463	349	-	-	689	125	1,909
	無料	4,177	5,608	3,541	2,649	3,620	3,976	5,089	5,401	3,635	3,116	2,981	4,295	48,089
	※1 計	79,120	112,429	64,247	49,374	83,608	76,637	96,386	101,419	73,819	51,186	73,760	98,164	960,149

※1 平成30年度 4月～12月は実績値。1月～3月は見込値。

2 グラバー園入園者数推移

【単位:人】



※「合計」は「個人」「団体」「夜間独占利用」「無料」の総数

【単位:年度】

3 事項別内訳表(グラバー園)

(単位:千円)

入				出			
事項名	31年度	30年度	差引増▲減 ①-②	事項名	31年度	30年度	差引増▲減 ①-②
	当初予算 ①	当初予算 ②			当初予算 ①	当初予算 ②	
1 使用料及び手数料	1,381	1,351	30	1 グラバー園費	251,997	284,368	▲32,371
1 休憩所使用料	1,280	1,281	▲1	1 グラバー園事業費	118,853	170,150	▲51,297
2 土地使用料	101	70	31	1 職員給与費	19,128	17,901	1,227
2 国庫支出金	-	16,750	▲16,750	2 グラバー園管理費	31,395	61,663	▲30,268
1 国庫補助金	-	16,750	▲16,750	(1) 資料保存整備費	-	88	▲88
3 財産収入	254	1,141	▲887	(2) グラバー園運営費	27,110	24,219	2,891
1 財産運用収入	254	1,141	▲887	(3) グラバー顕彰式開催費	356	356	-
4 繰入金	13,000	11,450	1,550	(4) 旧グラバー住宅展示整備費	3,929	-	3,929
1 観光施設整備基金繰入金	13,000	11,450	1,550	(5) 旧グラバー住宅見学施設設置費	-	37,000	▲37,000
5 繰越金	1	1	-	(経常経費小計: 1~2)	50,523	79,564	▲29,041
1 繰越金	1	1	-	3 基金積立金	43,230	42,786	444
6 諸収入	235,961	252,975	▲17,014	4 耐震化推進事業費	-	33,900	▲33,900
1 グラバー園利用料金受入金	235,961	252,975	▲17,014	(1) 旧ウォーカー住宅	-	33,900	▲33,900
7 市債	6,400	5,700	700	5 グラバー園施設整備事業費	25,100	13,900	11,200
1 グラバー園施設整備事業債	6,400	-	6,400	(1) エスカレーター改修	5,700	13,900	▲8,200
2 耐震化推進事業債	-	5,700	▲5,700	(2) 排水路等整備	19,400	-	19,400
				(投資的経費小計: 4~5)	25,100	47,800	▲22,700
				2 公債費	81,520	72,574	8,946
				1 元金	79,786	70,299	9,487
				2 利子	1,734	2,275	▲541
				3 繰出金	51,624	41,644	9,980
				3 予備費	5,000	5,000	-
特定財源計	256,997	289,368	▲32,371	特定財源計	256,997	289,368	▲32,371
一般財源計	-	-	-	一般財源計	-	-	-
合計	256,997	289,368	▲32,371	合計	256,997	289,368	▲32,371

収支差引: -

4 グラバー園管理費

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
20	1	1	1	2-1	グラバー園運営費	千円 27,110
21	グラバー園 費	グラバー園 事業費	グラバー園 管理費			

1 概要

施設の適正な管理運営及び利用者に対するサービスの提供等を行うため、長崎市が支払う経費に関するもの。

2 事業内容

事 項	予算額 (千円)
報償費 (展示品借用謝礼金)	30
需用費 (消耗品費、修繕料)	5,516
役務費 (保険料、手数料)	438
委託料 (樹木剪定・伐採業務委託料、ボランティアガイド配置業務委託料、園内看板製作設置業務委託料)	6,500
使用料及び賃借料 (展示品賃借料)	50
負担金、補助及び交付金 (電子計算費負担金、長崎間税会会費)	73
公課費 (消費税及び地方消費税)	14,503
合 計	27,110

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円 27,110	千円 -	千円 -	千円 -	千円 27,110	千円 -

※休憩所使用料(1,280千円)、土地使用料(101千円)、グラバー園利用料金受入金(25,729千円)

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

本市を代表する観光施設であるグラバー園の適正な維持管理、運営を行い、利用者に対し、より良いサービスを提供する必要がある。

(2) 効果

施設の適正な管理運営が図られることで、利用者の利便性及び満足度向上につながる。

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
20 ～ 21	1 グラバー園 費	1 グラバー園 事業費	1 グラバー園 管理費	2-3	旧グラバー住宅 展示整備費	千円 3,929

1 概要

旧グラバー住宅保存修理工事等に合わせ、「旧グラバー住宅保存活用計画」に基づき、旧グラバー住宅の展示内容をリニューアルし、世界遺産の構成資産としての価値や、グラバーの偉業をわかりやすく伝える内容にすることにより、施設の魅力向上を図るもの。

2 事業内容

- (1) 旧グラバー住宅展示設計業務委託料 (3,929千円)
- (2) 委託期間 平成31年(2019年)7月～平成32年(2020年)2月(8か月間)

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円 3,929	千円 —	千円 —	千円 —	千円 3,929	千円 —

※グラバー園利用料金受入金

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

旧グラバー住宅の展示を、世界遺産の構成資産としての価値やグラバーの偉業をわかりやすく伝える内容にする必要がある。

(2) 効果

旧グラバー住宅の価値やグラバーの偉業がわかりやすく伝わる展示内容になることにより、施設の魅力が向上し、集客につながる。

5 展示内容の整備

(1) 展示方針（案）

ア 世界遺産の構成資産としての価値を示す（建物の価値）

世界文化遺産の構成資産としての価値を正しく伝達できるよう展示を行う。

イ グラバーの偉業や暮らしぶりを示す（建物の役割）

グラバーの偉業や旧グラバー住宅と居留地の関係性について展示を行う。

ウ 学びの場としての活用

グラバーが我が国の造船業や炭鉱産業に果たした役割を通して、近代化産業遺産の価値を学ぶ場として活用する。

(2) スケジュール

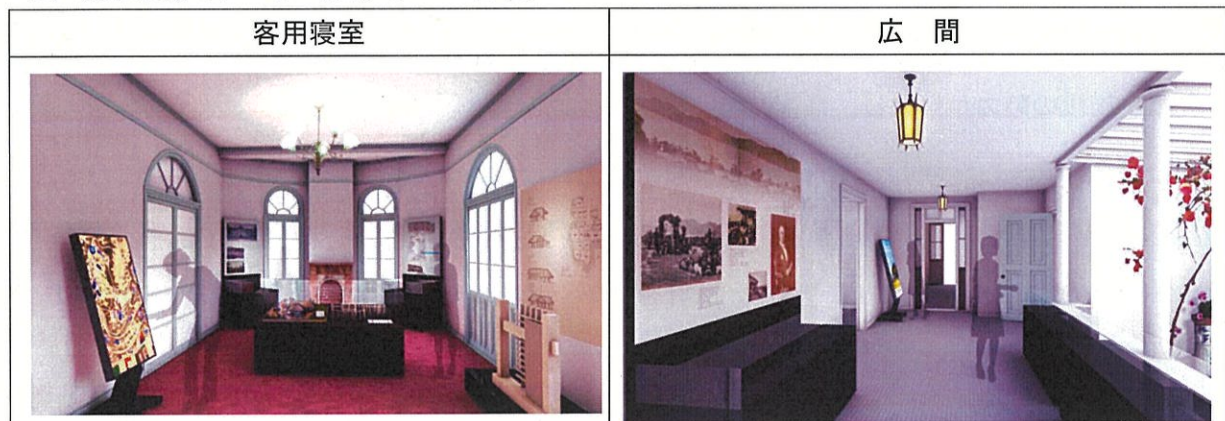
旧グラバー住宅も含め、園内の国指定重要文化財3邸の耐震補強・保存修理工事に合わせ、「保存活用計画」に基づき展示内容の整備を行うもの。

スケジュール（案）

年 度	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35 (2023)	H36 (2024)	H37 (2025)	H38 (2026)	H39 (2027)
旧グラバー (H30年度～)	←→								
旧 オルト	←→	←→	←→						
旧 リンガー					←→	←→	←→		

耐震・保存修理実施設計	←→
耐震・保存修理工事	←→
展示設計業務委託	←→
展示工事	←→

(3) 展示整備イメージ（旧グラバー住宅）



5 【単独】グラバー園施設整備事業費

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
20 ～ 21	1 グラバー園 費	1 グラバー園 事業費	1 グラバー園 管理費	4-1	【単独】グラバー 園施設整備事業費 エスカレータ改修	千円 5,700

1 概要

グラバー園の利便性、快適性の向上及び利用者の安全性確保を図るため、エスカレータ等の整備・改修を行うもの。

2 事業内容

(1) 工事内容

項 目	内 容	事業費(千円)
エスカレータ及び動く歩道 年次改修工事	エスカレータ(1・2号機)及び動く歩道(1・ 2号機)の年次改修を行うもの。	5,700

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円 5,700	千円 -	千円 -	千円 -	千円 5,700	千円 -

※ グラバー園利用料金受入金

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

施設の利便性及び快適性の向上と、利用者の安全性を確保するため、施設の改修を行う必要がある。

(2) 効果

グラバー園の利便性及び快適性の向上と、利用者の安全性の確保が図られる。

5 園内配置図



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
20 ↳ 21	1 グラバー園 費	1 グラバー園 事業費	1 グラバー園 管理費	4-2	【単独】グラバー園 施設整備事業費 排水路等整備	千円 19,400

1 概要

グラバー園内の園路は坂道が多く、雨天時に雨水が通路を流れ、来園者が快適に見学できないことから、雨水排水路の整備を行い施設利便性の向上を図るもの。

2 事業内容

事 項	予算額 (千円)
(1) 需用費 印刷製本費	10
(2) 工事請負費 雨水排水路等整備工事 【施工内容】 板石舗装撤去・再設置 A=83.0㎡ 集水柵 10箇所 暗渠排水管 L=37.0m U型側溝 L=57.1m 落蓋式側溝 L=56.7m	19,390
合 計	19,400

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債 ※1	その他 ※2	一般財源
千円 19,400	千円 -	千円 -	千円 6,400	千円 13,000	千円 -

※1：公営企業債：充当率100%

※2：観光施設整備基金繰入金

4 事業実施の必要性とその効果

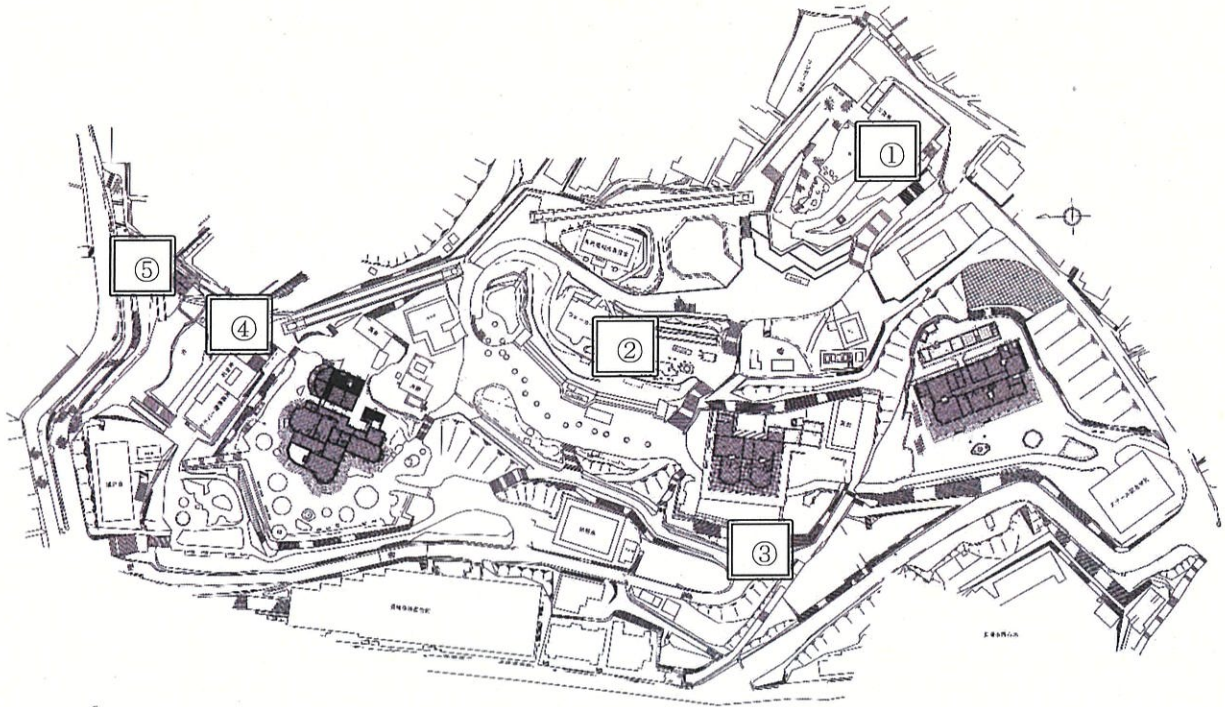
(1) 必要性

グラバー園内は雨水排水路の整備が不十分であることから、来園者の施設利便性を向上させるためには、雨水排水路等を整備する必要がある。

(2) 効果

観光客をはじめ、来園者が雨天時も快適に園内を見学・散策できるほか、施設の利便性及び快適性の向上と安全性の確保が図られる。

5 施工箇所と施工内容



No.	施工箇所	施工内容
①	旧三菱第二ドックハウス前	板石舗装撤去・再設置 (A=83.0㎡)
②	旧ウォーカー住宅周辺	集水樹(4箇所)、暗渠排水管(L=17.0m) U型側溝(L=11.0m)、落蓋式側溝(L=9.5m)
③	旧リンガー住宅前	集水樹(2箇所)、暗渠排水管(L=12.5m) U型側溝(L=27.5m)
④	管理事務所周辺	集水樹(3箇所)、暗渠排水管(L=2.5m) U型側溝(L=11.0m)、落蓋式側溝(L=47.2m)
⑤	入園口階段	集水樹(1箇所)、暗渠排水管(L=5.0m) U型側溝(L=7.6m)

6 現況写真



6 ロープウェイ利用者数

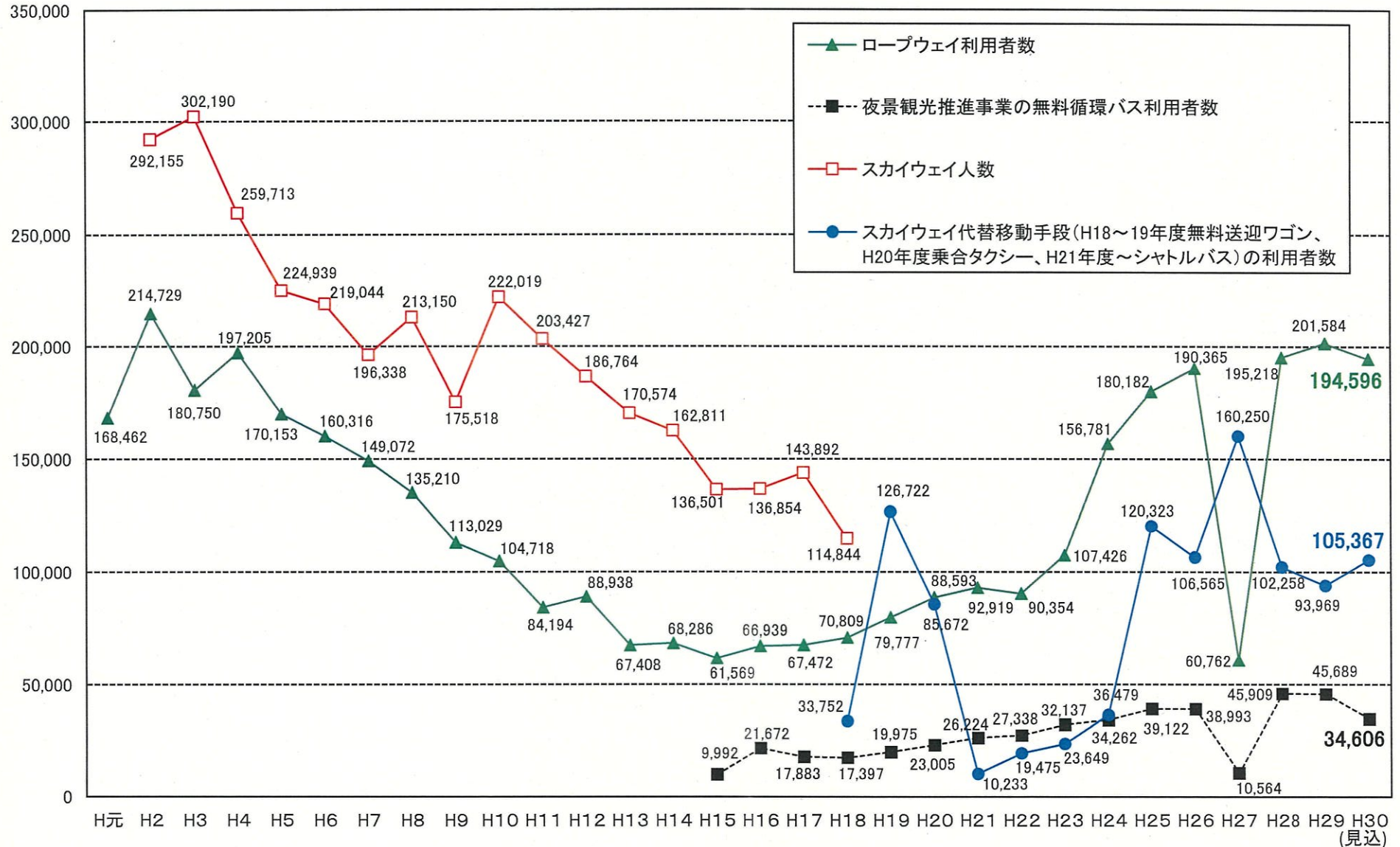
【単位：人】

年度		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年度	個人		12,968	13,944	7,612	11,374	20,414	13,567	13,671	15,252	12,558	13,951	16,230	20,146	171,687
	団体		977	1,562	1,462	891	1,267	1,643	2,746	2,633	1,862	1,431	743	3,274	20,491
	無料		332	261	162	213	242	136	448	256	187	290	168	345	3,040
	計		14,277	15,767	9,236	12,478	21,923	15,346	16,865	18,141	14,607	15,672	17,141	23,765	195,218
	うち 無料送迎バス利用 (夜景観光推進事業)		3,175	3,122	2,350	3,751	5,010	4,103	3,792	4,041	3,124	3,941	4,374	5,126	45,909
平成29年度	個人		13,603	18,918	10,770	13,432	18,627	12,939	14,986	16,045	8,115	11,045	14,098	20,045	172,623
	団体		2,290	2,394	1,636	1,508	1,448	1,157	2,810	3,376	1,199	1,803	1,539	2,933	24,093
	無料		449	367	211	331	275	262	1,574	423	191	269	195	321	4,868
	計		16,342	21,679	12,617	15,271	20,350	14,358	19,370	19,844	9,505	13,117	15,832	23,299	201,584
	うち 無料送迎バス利用 (夜景観光推進事業)		3,733	4,650	3,549	4,403	4,803	3,712	3,675	3,680	1,918	2,938	3,715	4,913	45,689
平成30年度	個人		15,774	14,013	10,221	11,074	19,224	10,026	14,837	17,306	7,931	12,889	13,609	19,350	166,254
	団体		3,062	1,698	1,428	788	1,657	506	3,433	4,781	1,143	1,416	1,486	2,831	24,229
	無料		506	298	251	210	251	125	996	555	130	293	188	310	4,113
	計		19,342	16,009	11,900	12,072	21,132	10,657	19,266	22,642	9,204	14,598	15,283	22,491	194,596
	※1 うち 無料送迎バス利用 (夜景観光推進事業)		2,588	2,772	2,454	2,890	4,303	2,149	2,813	2,808	1,348	2,152	3,586	4,743	34,606

※1 4月～1月は実績値。2月～3月は見込値。

7 ロープウェイ等利用者数推移

12



※「ロープウェイ利用者数」は「個人」「団体」「無料」の総数

【単位:年度】

9 ロープウェイ事業管理費

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
22 ～ 23	2 ロープウェイ 費	1 ロープウェイ 事業費	1 ロープウェイ 事業管理費	1-1	ロープウェイ 事業運営費	千円 13,852

1 概要

長崎ロープウェイに係る安全輸送の確保及び適正な施設運営を行うため、長崎市が支払う経費に関するもの。

2 主な事業内容

事項	予算額 (千円)
報償費(安全統括管理者1名)	60
需用費(修繕料)	1,816
役務費(保険料)	261
使用料及び賃借料(ロープウェイ淵神社駅舎等土地借上料)	11,436
その他(旅費・委託料)	279
合計	13,852

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円 13,852	千円 —	千円 —	千円 —	千円 13,852	千円 —

※ 建物使用料(282千円)、土地使用料(1千円)、利用料金受入金(13,438千円)、
電気使用料(130千円)、修繕料精算金(1千円)

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

稲佐山への主要な交通手段である長崎ロープウェイの適正な維持管理、運営を行い、利用者に対して安全運行を提供する必要がある。

(2) 効果

施設の適正な維持管理が図られることで、安全運行を継続することができ、利用者の利便性及び満足度向上につながる。

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
22 23	2 ロープウェイ 費	1 ロープウェイ 事業費	1 ロープウェイ 事業管理費	1-2	夜景観光推進事業 共催費負担金	千円 23,150

1 概要

市内宿泊施設等からロープウェイ淵神社駅まで、観光客等をバスにより無料送迎する「夜景観光推進事業」を実施している夜景観光推進実行委員会へ負担金を支出することにより、稲佐山からの夜景を気軽に眺望できる機会を創出し、ロープウェイ利用者の増加を図るもの。

2 事業内容

- (1) 実施主体 夜景観光推進実行委員会（事務局：一般財団法人長崎ロープウェイ・水族館）
- (2) 運行方法等 大型バスによる送迎（1日4便 ※次ページ参照）
- (3) 収支計画

収入			支出	
負担金等	長崎市	23,150千円	バス借上料	25,070千円
	(一財)長崎ロープウェイ・水族館等	1,300千円	広告宣伝費	211千円
	市内宿泊施設（5社）	1,000千円	印刷費	24千円
雑収入（預金利息）		1千円	警備委託料	75千円
			会議費	20千円
			通信費	1千円
			諸雑費	50千円
合計		25,451千円	合計	25,451千円

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円 23,150	千円 -	千円 -	千円 -	千円 23,150	千円 -

※ ロープウェイ利用料金受入金

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

観光客に対して稲佐山からの夜景を気軽に眺望できる機会を創出する必要がある。

(2) 効果

ロープウェイの利用者増が図られ、宿泊・滞在型観光の推進につながる。

5 無料送迎サービスルート図及び時刻表



バス時刻表 ー毎日4便運行中ー

※8月15日、12月初旬、悪天候日は運休いたします。

■ 往路 (長崎ロープウェイ淵神社駅へ)

	ホテル ベルビュー 長崎出島	※1 ホテル モントレ長崎	ANA クラウンプラザホテル 長崎グラバーヒル	ホテル ニュー長崎	※2 JR長崎駅内 バス停	※3 ザ・ホテル長崎 BWプレミア コレクション	長崎ロープウェイ 淵神社駅
1便	19:00発	19:05発	19:08発	19:15発	19:17発	19:20発	19:25発
2便	19:30発	19:35発	19:38発	19:45発	19:47発	19:50発	19:55発
3便	20:00発	20:05発	20:08発	20:15発	20:17発	20:20発	20:25発
4便	20:30発	20:35発	20:38発	20:45発	20:47発	20:50発	20:55発

■ 復路 (長崎ロープウェイ淵神社発)

	長崎ロープウェイ 淵神社駅	ホテル ニュー長崎	※2 JR長崎駅内 バス停	※3 ザ・ホテル長崎 BWプレミア コレクション	ホテル ベルビュー 長崎出島	※1 ホテル モントレ長崎	ANA クラウンプラザホテル 長崎グラバーヒル
1便	20:30発	20:37発	20:39発	20:42発	20:50発	20:55発	20:58発
2便	21:00発	21:07発	21:09発	21:12発	21:20発	21:25発	21:28発
3便	21:30発	21:37発	21:39発	21:42発	21:50発	21:55発	21:58発
4便	22:10発	22:17発	22:19発	22:22発	22:30発	22:35発	22:38発

※1
ホテルモントレ長崎

ホテルモントレ長崎をご利用のお客様は、長崎バス「市民病院前」バス停からのご乗車になります。

※2
JR長崎駅内バス停

JR長崎駅内バス停の場所は、路線バスと異なりますので、ご注意ください。

※3
ザ・ホテル長崎BWプレミアコレクション

ザ・ホテル長崎BWプレミアコレクションのバス停の場所は、路線バスと異なりますので、ご注意ください。

10 【単独】ロープウェイ施設整備事業費

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
22 ↳ 23	2 ロープウェイ 費	1 ロープウェイ 事業費	1 ロープウェイ 事業管理費	3-1	【単独】ロープウ エイ施設整備事業 費 ロープウェイ 設備整備	千円 55,000

1 概要

ロープウェイ設備の適正な維持管理により利用者の安全性を確保するため、老朽化した設備の改修を行うもの。

現地工事は既設閑散期の6月を予定しているが、平成32年度（2020年度）施工分については、部品の製造等に時間を要することから、契約を平成31年度に行う必要があるため、債務負担行為を設定する。

本契約に係る工事請求費の4割を前金払の限度額として平成31年度に予算計上する。

2 事業内容

(1) 印刷製本費

ア 平成31年度分 10千円

(2) 工事内容

ア 平成31年度施工分

項目	事業費(千円)
予備原動機設置工事	33,480
制動機更新工事	5,250
原動・遊導滑車等ゴムブロック更新工事	6,860
合計	45,590

イ 平成32年度（2020年度）施工分

項 目	事業費(千円)		
	全体	平成31年度 (2019年度) (前金分)	平成32年度 (2020年度) (債務負担行為分)
平衡索滑車ゴムブロック更新工事	5,440	2,176	3,264
曳索・平衡索交換工事	18,060	7,224	10,836
合計	23,500	9,400	14,100

(3) 工事予定期間

ア 平成31年度施工分

平成30年12月から平成31年(2019年)6月まで

(製造は工場で行い、平成31年(2019年)6月に現地工事予定。)

イ 平成32年度(2020年度)施工分

平成31年(2019年)9月から平成32年(2020年)6月まで

(製造は工場で行い、平成32年(2020年)6月に現地工事予定。)

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債 ※1	その他 ※2	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
55,000	—	—	18,300	36,700	—

※1 公営企業債(充当率100%) ※2 観光施設整備基金繰入金

4 事業実施の必要性とその効果

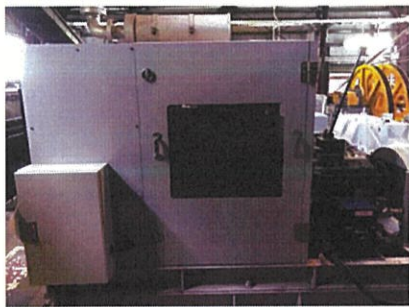
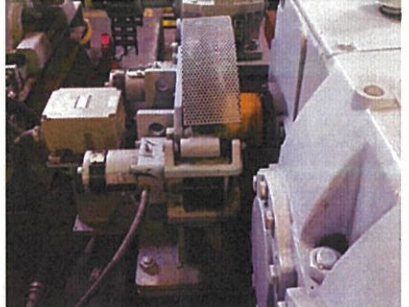



(1) 必要性

適正な施設管理により利用者の安全性を確保するため、更新工事等を行う必要がある。

(2) 効果

ロープウェイ施設の適正な維持管理及び利用者の安全性の確保が図られる。

5 設備整備箇所

予備原動機	制動機	原動・遊導滑車等ゴムブロック
		
 ギヤードモーター (モーターと減速機が一体化したもの)		

債務負担行為		期 間	限 度 額
予算説明書頁	事項		
32 ~ 33	ロープウェイ設備整備事業	平成31年度から 平成32年度(2020年度)まで	千円 14,100

1 債務負担行為の目的

老朽化したロープウェイ設備の整備工事にあたり、施設閑散期の6月にロープウェイを運休し、現地工事を予定しているが、整備部品等の製造に期間を要することから、整備工事の履行期間が2か年に渡るため、債務負担行為を設定するもの。

2 整備内容・スケジュール

(1) 設備整備内容

項 目	事業費(千円)		
	全体	平成31年度 (2019年度) (前金分)	平成32年度 (2020年度) (債務負担行為分)
平衡索滑車ゴムブロック更新工事	5,440	2,176	3,264
曳索・平衡索交換工事	18,060	7,224	10,836
合計	23,500	9,400	14,100

(2) スケジュール

年度	内容
平成31年(2019年)9月～平成32年(2020年)5月(約9か月)	設備製造
平成32年(2020年)6月	現地工事

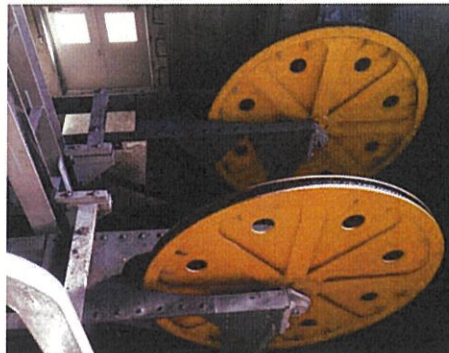
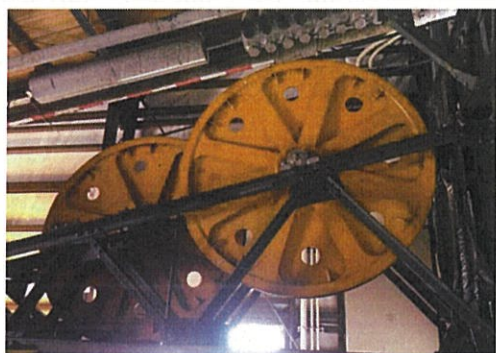
3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債 ※1	その他 ※2	一般財源
千円 14,100	千円 —	千円 —	千円 4,700	千円 9,400	千円 —

※1 公営企業債(充当率100%) ※2 観光施設整備基金繰入金

4 設備整備箇所

平衡索滑車ゴムブロック



左上：平衡索誘導滑車
 右上：平衡索緊張滑車
 左下：ゴムブロック

曳索・平衡索

